

食道癌手術のコツと要点

食道癌に対する治療において、手術はいまだ中心的な位置にあり、National Clinical Database によれば、年間 5,000 例以上の食道切除が行われている。頸部、胸部（縦隔）、腹部に操作が及ぶもっとも侵襲の大きな手術であるが、それだけに外科医にとって習得すべき術式の一つでもある。また、その周術期管理を会得することにより、様々な術式に対しても応用、活用がきくであろう。一方、胸腔鏡、腹腔鏡の導入や集学的治療の広まりにより、食道癌根治術も以前に比べて変化しているものと思われる。

本特集では、最新の技術、話題などを紹介し、若手外科医の座右の食道癌教科書としたい。